

口絵写真および災害の概要 山形県最上郡大蔵村南山地区で発生した地すべり



(地すべり全景) 令和2年8月10日撮影 山形県最上総合支庁建設部提供

<災害の概要：斜面防災技術 Vol.48 No.1 口絵写真より>

2020（令和2年）年7月末の連続雨量219mmの大雨の影響により山形県最上郡大蔵村南山で、幅約200m、長さ約150mにわたる地すべりが発生した。地すべり頭部には高低差6～10mの滑落崖が生じたほか、斜面下を流れる銅山川に隆起が生じた。地すべりは東北電力柳^{やなぎぶち}淵発電所の裏山で発生したもので、この影響で同発電所は運転を停止した。人的被害はなかったものの、銅山川に沿って走る村道に段差やズレが生じて通行止めになるなどの被害があった。7月末に大蔵村職員が村道に亀裂が生じているのを発見した後、次第に亀裂が拡大し、8月10日に地すべりの発生を確認した。

その後、対策工実施に向けて調査が行われている。